

令和6年10月11日

意見表明

日本維新の会神戸市会議員団

日本維新の会神戸市会議員団は、令和5年度神戸市各会計決算及び関連議案について、要望17件を付して認定・承認します。

(要望事項)

1. 非常勤の市行政委員報酬については、市民に理解される制度とするため、勤務実態と報酬のあり方について検討する、有識者等で構成される外部委員会を早急に設置すること。
2. 日々進化するサイバー攻撃に迅速かつ的確に対応するためにも、サイバーセキュリティ対策を継続して実施すること。
3. 外国人や女性の視点をより積極的に取り入れた、防災訓練や避難所の開設・運営訓練を実施すること。
4. 神戸市役所内におけるDX推進のため、必要な知識・スキルを有する人材を業務内容や役職に応じて計画的に育成していくこと。また、コンプライアンス上の問題やヒューマンエラーによるミスなどに対する、チェックシステムとしてのAIの活用について検討・実施すること。
5. マイナ保険証の趣旨・目的を周知し、利用促進に取り組むこと。
6. 優秀で意欲溢れる神戸市職員の人材確保のためにも、庁内でのスキルアップ体制の強化や官民間での人材の流動化を図り、さらには職員が一丸となれる具体的な数値目標の設定を行うこと。
7. 本市において「共生社会の実現」を目的とする世界パラ陸上競技選手権大会が開催されたにもかかわらず、一向に進まない公共交通機関のバリアフリー化を加速度的に進めていくこと。

8. DV（ドメスティック・バイオレンス）や児童虐待における被害者支援の一環として、加害者プログラムを推進すること。
9. 大阪・関西万博の機会を捉え、インバウンド客の誘致のみならず、教育旅行の積極的な誘致を行うこと。併せて、開催終了後も神戸経済に寄与する中長期的なビジネス展開を図り、持続的な市内経済の成長・発展に繋げていくこと。
10. 緑化整備に当たっては、防災や暑熱対策等、自然環境が有する多様な機能を活用するという「グリーンインフラ」の概念を導入すると同時に、三宮・元町周辺の都心部のみの整備に限定するのではなく、より住民に寄り添った計画を策定及び推進すること。
11. 神戸の魅力の一つである登山を、ウェルビーイングの観点からも積極的に広報すること。併せて登山道の再整備を進めるとともに、携帯電話やフリーWi-Fiなど通信環境の改善に取り組むこと。
12. マンション解体工事に伴う公費の支出を防ぐためにも、マンション管理状況の届出制度における届出率を100%に近づけるための具体的な施策を示し実行すること。
13. 持続可能な上下水道の機能を確保するべく、ウォーターPPP導入や上下水道一体化、広域化を図り、事業の効率化・高度化・基盤強化の取り組みを推進すること。
14. 交通事業全体の多大な時間外勤務の見直し、職場環境の改善、健康管理体制等、適正な職場環境整備に努めること。またバス事業においては、各路線の営業係数などを分析の上、改善目標数値の設定を行い、赤字解消に努めると同時に、適切な運行計画を策定すること。
15. 教育格差及び体験格差を是正するべく、教育バウチャー制度を導入の上、KOBE◆KATSUやフリースクール等もその対象とすること。
16. KOBE◆KATSUについては円滑に推進するべく、地域の受け入れ体制や人員・場所の確保、会費制による家庭負担増への対策を部局間の連携を強化しながら早急に解決し、これを地域課題解決の機会と捉え、生徒が不公平なく安心して部活動に打ち込める環境を整えること。
17. 自由進度学習などの、「Society 5.0」時代に向けて求められる教育を本市でも実施すること。